

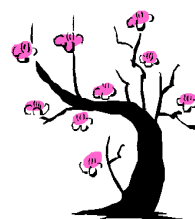


四郷小 学校だより

第 26 号

令和 4 年 2 月 28 日

早いもので、本年度最後の月、3月を迎えようとしています。最後の一か月、それぞれの学年で、卒業、進級に向かって、残された時間を大切に過ごすとともに、これまでに学んだことをさらに確かなものとなるように取り組んでまいります。



第5回くろがねもち協議会

少し前になりますが、2月10日(木)に、本年度最後の第5回くろがねもち協議会(コミュニティスクール運営協議会)を開催しました。

今回は、本年度の保護者・児童アンケートの結果について学校から説明するとともに、各ボランティア団体の代表の方に今年度の活動について総括していただき、くろがねもち協議会委員のみなさまに、本校の教育活動についてご協議いただきました。また、この1年のコミュニティスクールとしての活動状況を振り返りながら、今後の取り組みについてのご意見等をいただきました。会議の中で出された内容の一部を以下にご紹介します。これらのご意見をふまえて、来年度に向けて本校の教育活動の改善を図ってまいります。



- 挨拶ができる子が増えてきた。挨拶だけでなく、季節の節目の挨拶(新年のあいさつなど)をきちんとしてくれる高学年児童もいる。1年生についても、交通安全教室でボランティアと交流を持ってから、挨拶ができるようになってきたので、さらに早い時期に実施できるとよいと感じた。
- PTAが作っている通学路安全マップについて、子どもを守る家の表記が商売をやめている店舗や、通学路ではない位置にある家などがずっと載っているの、今後見直していったらどうか。
- コロナの影響で9月のクラブ活動が中止になったが、代わりに12月に実施してもらえてうれしかった。何よりの成果はコロナ禍であっても、楽しくクラブ活動をやれたということである。
- もし可能であれば、地域で指導者を探してもらって、クラブの数を増やしてほしい。地域には多くの人材が眠っていると思う。
- 学校づくりビジョンと評価・アンケートの整合性を図ってほしい。また、評価の仕方についても具体的な数値等で客観的に示していかないと分かりにくいし、次年度につながらないのではないかな。
- コロナ禍でも、先生方はいろいろ工夫していただいている。タブレットを持ち帰るようになり、学校H Pもよく見るようになった。授業参観だけでなく、学校に来られない代わりに掲示物やクラブの様子などもわかるとよい。

感謝の気持ちを届けた 6年生を送る会



2月25日（金）2、3限目に本校体育館で「6年生を送る会」が行われました。新型コロナウイルス感染予防のため、今年の「6年生を送る会」は、発表学年のみが体育館に入り、6年生への感謝の気持ちを込めた出し物をカメラに向かって披露し、6年生や他学年児童は各教室で、配信された動画を視聴する形で実施となりました。出し物についても、合唱やマスクを外さなければならないリコーダー・鍵盤ハーモニカの演奏などはさけて、密にならない環境でマスクをつけた状態でできる出し物をどの学年も工夫しました。

6年生が目の前にいないのに、気持ちを伝えることができるのかと心配しましたが、委員会活動、児童会活動など、いろいろな場面でお世話になった6年生へ、1年生から5年生は思いを込めてお礼の言葉を伝えたり、出し物を披露したりする姿がみられました。短い練習期間でしたが、どの学年も練習の成果を存分に発揮することができました。

コロナ禍において、今できる範囲での精一杯の工夫を凝らして、6年生に感謝の気持ちを届けることができた、そして、6年生の心に響く「6年生を送る会」になりました。



「学校保護者連絡システム」(Home & School) の導入について

現在使用している「すぐメール」の契約終了に伴い、令和4年4月1日より「学校保護者連絡システム」(Home & School) が導入されます。これは、保護者スマートフォンのアプリに、学校からの一斉連絡等が配信されるものです。主な機能として、一斉配信のほかにも、学年・学級ごとの配信、学校だより・学年通信等の文書配信、アンケート調査、保護者からの欠席連絡など幅広く活用できます。

今後、保護者のみなさまには、この新システムに登録していただく必要があります。くわしくは3月中旬に説明文書・登録用紙を配付いたしますので、登録のご協力をよろしくお願いいたします。

